

2013 初夏 東大寺 近畿大学農学部公開講座

開催
日時

5月18日(土)

13:30~16:00 (受付開始13:00)

会場

東大寺総合文化センター
「金鐘ホール」

事前申込不要

後援:奈良県

メインテーマ「美味しく安全な野菜・果物」

講演1 13:40~14:40

講師

近畿大学 農学部 農業生産科学科 教授 宇都宮 直樹



【プロフィール】

昭和23年 愛媛県生まれ
昭和47年 京都大学農学部卒業
昭和49年 京都大学大学院農学研究科修士課程修了
昭和49年 京都大学農学部助手

昭和57年 京都大学農学部助教授
平成 4年 近畿大学農学部教授

【現在の専門】
園芸植物学(園芸作物の栽培・生理)

■講演テーマ

園芸学的に見た 美味しい野菜・果物の育て方

私たちは、多くの種類の野菜や果物に取り囲まれ、豊かな食生活を送っています。毎日食べているこれらの野菜や果物は、長い年月をかけて野生種を改良し、より美味しくした栽培種です。したがって、これらの栽培種を普通に育てれば、美味しい野菜や果物を収穫することができます。しかし、普通に育てるとはということかという疑問が残ります。これを科学的な見地から説明し、より美味しい野菜や果物を食べることができる栽培方法を提言させていただきます。

講演2 14:50~15:50

講師

近畿大学 農学部 農業生産科学科 教授 林 孝洋



【プロフィール】

昭和33年 京都市生まれ
昭和57年 京都大学農学部卒業
昭和59年 京都大学大学院農学研究科修士課程修了
昭和59年 岡山大学農学部助手

平成 5年 京都大学農学部講師
平成10年 米国ミシガン州立大学客員研究員
平成11年 京都大学大学院農学研究科助教授
平成21年 近畿大学農学部教授

【現在の専門】
蔬菜花卉園芸学
植物・人間関係学

■講演テーマ

植物工場による野菜生産 ーその現状と未来

天候不順で露地物野菜が高騰するたびに、新聞や雑誌に「植物工場」が大きく取り上げられます。大手企業の参入によって植物工場の数が急速に増えていますが、原発の関係で電力事情が厳しい中、コストのかかる植物工場がどうして増えるのでしょうか？ 植物工場はほとんどが水耕栽培で、栽培されるのは主に葉菜類です。なぜでしょうか？ 安心・安全な野菜を安定供給するという視点から、植物工場とは何か、その現状と未来に向けた課題をお話しします。



2013近畿大学農学部公開講座

後援：奈良県

■プログラム

13:00~	受付・開場
13:30~13:40	開会・挨拶
13:40~14:40	講演① [講師] 農学部 農業生産科学科 教授 宇都宮 直樹
14:40~14:50	休憩
14:50~15:50	講演② [講師] 農学部 農業生産科学科 教授 林 孝洋
15:50~16:00	全体を通しての質疑応答
16:00	終了

受講無料! 事前申込不要
定員300人(先着順)

会場

東大寺総合文化センター「金鐘ホール」

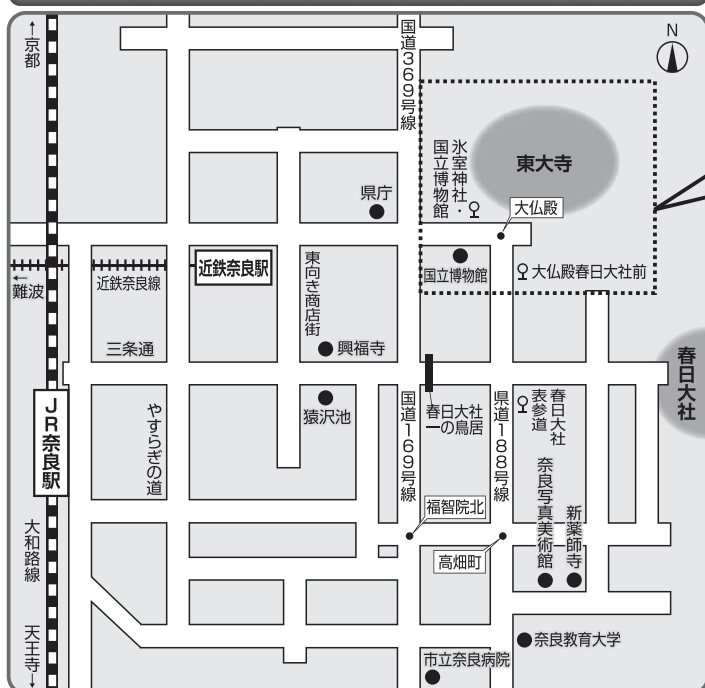
〒630-8208 奈良市水門町100番地

交通
案内

◆JR大和路線・近鉄奈良線「奈良駅」から徒歩約15分~20分

※市内循環バスをご利用の場合は、「大仏殿春日大社前」下車、徒歩約5分

会場周辺案内図



境内ご案内図



農学部のカリキュラムポリシー(教育課程の編成方針)

近畿大学農学部は、私立大学の農学部としては関西唯一の総合的な学部として半世紀にわたり、生物資源の品種改良や研究・開発、環境の修復・保全、生活習慣病の発症因子の解明など、最先端の研究に取り組んできました。今後も未来指向型の6学科で、社会に貢献する人材の育成と、人類と地球の幸福な未来に直結する実用的な研究に挑戦します。